

なかつ市議会だより

令和3年
12月議会

「高校生と議会との意見交換会」を開催しました



参加された高校生のみなさん（写真奥）



本会議場にて意見発表・意見交換が行われました

広報広聴委員会では、令和3年10月23日(土)に「高校生と議会との意見交換会」を開催しました。

「～高校生が考える中津市の未来～」をテーマに、やがて社会人として巣立つ高校生の視点で、どのような環境であれば中津市が「住みたい」「帰りたい」「行ってみよう」まちとなり

り得るのか、市内5校の高等学校の生徒のみなさんより、意見発表を行っていただきました。それぞれ高校生らしい視点から中津市の未来について提案がなされ、その後活発な意見交換が行われました。

参加して下さった高校生の方、引率の先生方、本当にありがとうございました。

12月議会 一般質問

- ◆令和3年12月議会において、市政全般に対する一般質問が行われました。その中から主な質問を紹介します。(質問順)
- ◆質問のタイトルの中で、色を変えた項目(ピンク色)についてのみ、質問と答弁の内容を掲載しています。
- ◆QRコードをスマートフォン等で読み込みいただくと、インターネット中継の議員ページにアクセスします。



三上 英範
(日本共産党)



- ・地方自治体の真の役割発揮を
- ・農林漁業を市の基幹産業に
- ・多子世帯への支援策拡充を
- ・山間部の今期の除雪対策は
- ・小学校社会科教材の編集

問 コロナパンデミックの下では、財政調整基金の積立が減っても、市民の窮状に対応すべきでは。

答 感染状況、地域経済の状況等に鑑みつつ、市民や関係機関等の意見を踏まえ、真に必要とされる支援を適時に実施していきます。

問 コロナの影響で、国民の主食である米の価格が下落、早急に支援策を講じるべきでは。

答 5ha以上の農家の実態調査をし、国の生産費調査が公表されてから、協議をすすめます。

問 18歳以下3人以上の子育て世帯の実態(世帯数)は。多子世帯への支援策の拡充を実施すべきでは。

答 子育て3人世帯は1,511世帯、4人以上は288世帯です。一時的な支援ではなく妊娠から子育て期まで切れ目のない総合的な支援に取り組んでいます。

問 「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」の起源の事実の共有を図るべきでは。

答 ジュニア論吉検定公式ガイドブック改訂の時に、そのような観点も含めて対応したいと考えます。



千木良 孝之
(新生・市民クラブ)



- ・環境改善について
資源プラの収集回数増
電気自動車の急速充電場所
公園内のトイレ・洗面台の改修
子育てしやすい環境とは

問 資源プラの分別が始まり4か月、市民からの意見等は。資源プラの収集回数を増やせないのか。

答 プラごみはどの程度まで綺麗にするのか、「資源プラ」の分別と併せて生ごみキエーロを利用することで燃やすごみが1/4になった、「資源プラ」が多すぎて家庭内での保管に困っているなどの意見を頂いています。資源プラの収集回数については燃やすごみの状況を見ても、まだ資源プラが多く含まれており、分別状況や資源プラの排出状況などを見極めながら判断したいと考えております。

問 2035年までに電気自動車の普及が進んで来ます。観光地への誘客者や庁舎の利用者、そして公用車も電気自動車を利用することになります。事前に本庁・各支所へ急速充電設備の設置のお考えは。

答 今後の公用車への電気自動車配備とあわせ検討します。今後の国の動向や電気自動車の普及状況・民間事業者での整備状況などを見極め対処して参ります。



恒賀 慎太郎
(創生なかつ)



- ・市民のマイナンバーカード発行に伴う不安解消について
- ・自治会の高齢化や世代構成の偏在化により活動力が低下しているが支援は

問 高齢者の様々な詐欺被害が聞かれる中、マイナンバーカード発行に不安を抱く方がおられるが、セキュリティ対策はどのようになっているか。

答 マイナンバー制度では、個人情報を一元管理せず、各行政機関が分散管理し、行政機関同士のやり取りでは、マイナンバーではなく暗号化された符号を用いるため、第三者がマイナンバーをもとに個人情報を知ることはできない仕組みとなっています。今後も安全性の周知に努めます。

問 市道の側溝、暗渠、草刈等を地元で対応できない場合、自治会に対し「事業の助成金補助」又は「利用出来る支援策」の説明は検討出来ないか。

答 市道の清掃等の地域活動は、住民同士の関わりであるなど地域コミュニティの維持にとって意義があると考えます。清掃等を業者委託していることに対する自治会への助成については、住民によって清掃活動を実施している自治会もあるため、慎重に研究していきたいと考えます。



大塚 正俊
(新生・市民クラブ)



- ・待ったなし! 地球温暖化対策
太陽光発電パネルや蓄電池整備の推進
住宅、建築物の省エネ化
・浸水被害の早期解消に向けて

問 国の新たな方針では、国や地方公共団体に関しては、太陽光発電設備の設置を一般化するとされており、積極的に設置すべきと考えますが如何か。

答 太陽光発電設備・蓄電設備の導入にあたっては、国の補助制度を活用して取り組みたいと考えています。

問 地球温暖化防止に向けて、まずは公用車から電気自動車を配備すべきと考えますが如何か。

答 今後は電気自動車の普及が見込まれ、市においても配備の検討が必要と考えています。

問 市の公共施設においても省エネ対策・再エネ対応を図るべきと考えますが如何か。

答 脱炭素社会に向けて、公共施設の省エネ対策・再エネ導入に取り組んでいきたいと考えています。

問 豪雨による浸水被害を早期に解消するための事業を計画的に進めるため、追加の財源を確保すべきと考えますが如何か。

答 地方公営企業繰出基準に基づいた一般会計からの繰出しを行えるよう、財源確保を図ります。



あら き ひろ こ
荒木 ひろ子
(日本共産党)



- ・ごみ減量とCO₂削減対策
- ・議会と高校生の対話から、住み
たくなるまちづくりの提案
- ・農林水産業従事者への支援
- ・国保税の負担軽減

問 中津市では第1子2歳まで保育料が有料です。有料は何人中何人ですか。豊後高田市や宇佐市の様に無料にして子育てしやすいまちにしませんか。

答 市内認可保育施設の3歳未満在園児は約1,300人で、うち保育料の徴収対象者は約400人です。更なる無償化につきましては国県の動向等を注視していきます。市では子育てしやすい環境づくりを目指して子どもと子育て世代を支援・応援するために、総合的に色々な分野で取り組んでいます。

問 国保税が高く、納めるのが大変と市民の声です。未収額、収納を諦めた不納欠損額、それでも余って積立てをした基金額は。国保税は引き下げを。

答 未収額は令和3年10月末時点1億8千万円、不納欠損額は令和2年までの5年間で2億2千万円。基金残高は10億2千万円。基金は財政調整機能として急激な医療費の増大や災害等による税収の減少に対応のため確保しています。税率改正は、今後の収支見通しを踏まえ慎重に検討、協議します。



すが かな こ
須賀 要子
(新生・市民クラブ)



- ・国土強靱化に向けた実行計画状
況について
- ・ふるさとなかつ応援寄附金につ
いて
- ・賑わいづくりで観光の活性化を

問 過去5年間の改修リフォーム補助金利用状況は。

答 耐震診断が27件、耐震補強工事が8件、省エネルギーフォームについて把握はしていません。

問 国も令和4年度の省エネ耐震リフォームについての補助拡充するが利用加速のための取り組みは。

答 ホームページ等での周知の増加、ポスター充実、耐震診断済みで改修を行っていない所有者に補助制度の説明を行うなどの周知に努めて参ります。

問 ふるさとなかつ応援寄附金の現状と課題目標は。

答 寄附を受けるポータルサイトを6サイトで運営しており、本年度11月末時点で1億16万1千円、前年度比207%となりました。課題は返礼品競争への遅れ、認知度の低さ等があります。今後も寄附額が増加するようにしっかりと取り組みを進めます。

問 高校生との意見交換を受けて中津市内の名所旧跡とカフェ、雑貨店などを組み合わせた情報発信を。

答 事業者の要望があれば、観光協会と連携して年齢層等にに応じた効果的な情報発信に取り組みます。



お ずみ りし こ
小住 利子
(公明党)



- ・不妊治療について
- ・子宮頸がんワクチンについて
- ・行政サービスの見直しについて
- ・女性の視点を生かした防災対策
について

問 令和4年度から不妊治療が保険適用になると言われていますが、今後の不妊治療の取り組みは。

答 今後の不妊治療については、保険適用となる方針が出され、現在国で検討が進められております。保険適用となった際には、制度を十分把握した上で、市民の皆様に周知をまいります。

問 サービスとして実施されてきた、国保税等の口座振替済はがきの送付に係る経費及び事務負担軽減の為にアンケート調査の実施を検討できないか。

答 対象者が振替通知を希望した方になりますので経費節約の趣旨を説明した上で、ご協力を頂けるよう周知方法を検討したいと考えております。

問 市の防災会議の構成員に防災士協議会の女性部会長を当てる考えは。

答 防災の取り組みに女性の視点を取り入れる必要性があると考えますので、来年度より、防災士協議会の女性部会長を構成員として任命したいと考えています。



よし むら なお ひさ
吉村 尚久
(新生・市民クラブ)



- ・福祉の充実のための拠点の整
備・拡充
- ・耶馬溪アクアパークを中心とした
地域の活性化
- ・不登校の子どもへの支援

問 教育福祉センターの相談室の確保や駐車場の整備を行ってはどうか。

答 中津市公共施設管理プランに基づき優先順位、緊急性、財源など総合的に考慮して、整備を行って参ります。

問 アクアパークを中心に施設を整備するとともに大学生などの関わりにより、地域の活性化につなげてはどうか。

答 耶馬溪アクアパーク及びB&G海洋センターを市内外から人が集まる拠点となるよう、取り組みます。また、「耶馬溪に住みたい」「中津市を盛り上げたい」と言ってくれるような地域づくりを大学生、地元住民、行政が協働で取り組んで参ります。

問 不登校や不登校傾向にある子どもの居場所として校内適応指導教室を設置してはどうか。

答 支援を必要とする児童生徒が増加しており、取り組みの拡充を図っていく必要があると感じています。



かわ うち や ち よ
川内 八千代
(日本共産党)



- ・コロナによる市民への影響に対策と支援を
- ・農家への支援策
- ・使い込み事件の経緯
- ・困窮家庭に福祉灯油制度を

問 米価の下落による農家の被害に対して支援を。

宇佐市は支援すると答弁。中津市も年内に支援を。

答 現在5ha以上の農家へ聞きとりしています。その結果を元に今後協議を行います。

問 1,300万円の使い込み事件の9月議会以降の経緯は。

答 11月30日に尋問がありました。

問 新聞記事では女性の元市職員は「上司に相談していた」と主張、市は「ありえない」と答えているが、以前からの主張、反論だけだったのか。返還金はあったか。返還される見通しは。

答 係争中につき、申し上げることは適切ではありません。返還金はなく、判決等の期日は裁判所の判断となります。市側の主張すべき点はしっかりと行っております。

問 国の優遇措置を活かし中津市も油代補助制度を。

答 灯油の購入に特化した事業は予定しておりませんが、今後も生活困窮者の生活の安定のため必要な支援に繋がられるように取り組んでまいります。



ふる え しん い ち
古江 信一
(前 進)



- ・空き家対策の現状と課題、今後の取り組みについて
- ・2025年を見据えた地域包括ケアシステムの進捗状況は

問 年々増加する空き家に対し、利活用と発生を抑制する対策について、現在旧下毛地域の過疎・移住のみの政策である「空き家バンク制度」を見直し、他市の先進事例も踏まえ市内全域に設定する必要があると思いますが、検討しませんか。

答 空き家は年々増加傾向にあり、以前にも増して地域の問題となっていると認識しています。有効な対策の一つである「空き家バンク制度」の市内全域への拡充について、地元不動産取引事業者等と協働で制度の導入を検討してまいります。

問 日常生活圏域における介護保険施設の状況を見ると、校区ごとの片寄りが見られるが、地域を指定した公募も今後必要ではないでしょうか。

答 公募の際は、サービスの種類を指定し公募を行い、整備されていない校区を優先することを考慮して選定します。介護保険施設の基盤整備については、介護需要や事業者の意向等を踏まえ、計画策定委員会の中で議論、検討してまいります。



まつ ば たみ お
松葉 民雄
(公明党)



- ・マイナンバーカードの交付状況
- ・代理人の設定方法について
- ・保険証としての取り組み
- ・商品券のデジタル化活用
- ・キャッシュレス決済への助成

問 マイナポータルで子どもや高齢者、障がい者に代わって手続きが出来る、代理人の設定ができるようになっているがその内容について伺います。

答 マイナポータルでは、代理人を設定することでマイナンバーカードを持っている本人以外の方がマイナポータルの機能を使用できる仕組みになっています。代理人を設定する際は、本人が代理人同席のもと、マイナポータルから代理人に利用を許可するサービスや、参照を許可する情報、代理できる期間等を設定し、代理人が代理人自身のマイナンバーカードを読み込ませて代理人登録をする必要があります。登録後は、本人に代わって代理人がマイナポータルの各種サービスを利用できるようになりますが、代理人が使用できるサービスは、登録の際に委任すると設定したサービスのみ使用できる仕組みとなっております。また、代理人の新規登録はパソコンでの作業が必要であり、スマホでの新規登録はできません。



ほん だ てつ や
本田 哲也
(ゆうき)



- ・災害時の水道水の安定供給について
- ・地魚の消費拡大について
- ・高校生との意見交換会にて

問 令和3年1月寒波後の対応は。

答 止水栓ハンドル取り付けや三口浄水場での浄水機能の増強などと共に12月を「水道管凍結防止強化月間」とし広報活動の強化をしております。

問 地魚を取り扱う鮮魚店、飲食店にノボリやパンフレットなどでの消費喚起の取り組みは。

答 魚市場を初め大分県や漁協、鮮魚店、飲食店など関係者一体となったPR事業の展開を考えます。

問 高校生から夏休みや土日を活用してでも職場体験を希望する意見があるが考えは。

答 生きがいを持って働き続けられるよう、企業側の意見も伺い必要な施策に取り組みます。

問 旧下毛の活性化対策について。

答 地域の方が主体となる体験型観光、ゲーム・サイクリングイベントを今後も支援します。

問 旧市内に「空き家バンク制度」の地域拡大は。

答 地元不動産取扱事業者等と協働で制度導入について検討してまいります。



やま かげ とも かず
山影 智一
(ゆうき)



- ・政策市役所について
- ・駅周辺・商店街の活性化と城下町エリアの観光振興について
- ・地場産業政策形成について
- ・ポストコロナの支援策

問 これまでのコロナ禍において、地域経済対策として各種助成金やプレミアム商品券・食事券などの支援をしています。あわせて金融支援も行われています。ポストコロナを見据え、融資を実行した地場金融機関の方の意見も聞き、長引くコロナ禍後の事業者には耳を傾け、事業継続できるように取り組んでいくべきでは。

答 金融支援は、資金繰りに困る事業者に対し、日本政策金融公庫や大分県の特別資金など、低金利で据置期間の長い制度があります。市においても県の特別融資に対し3年間の利子補給の支援をしています。また、民間金融機関による信用保証付融資制度による資金繰り支援も行われています。市として、これまでも様々な施策で支援をしてきましたが、今後もプレミアム商品券事業等により、市民、関係者が互いに励まし合いながら、地域経済を再活性化する支援策を展開していきたいと考えています。



すみ よし おみ
角 祥臣
(前 進)



- ・任期付職員の処遇について
- ・今後の観光計画と施設整備は
- ・公共施設管理計画について
- ・登下校時における不審者対策
- ・保育施設等に侵入する対策は

問 市立保育園に勤務する任期付職員がコロナ対策で児童福祉施設従事者慰労金の対象外になった訳。

答 全体の奉仕者としての責務という観点、また県内他市町村の状況も踏まえ対象外としました。

問 羅漢寺駐車場にトイレの新設整備を早急に検討。

答 古羅漢へも訪れてもらえるよう、羅漢寺公共駐車場のトイレ利用を案内しています。

問 旧東谷小学校、廃校後の施設管理計画の対策は。

答 地域づくりの課題等を踏まえ、適正な維持管理を行いながら、効果的な手段を検討していきます。

問 「子どもたちを守るのが大人の責任」登下校時に不審者から見守る安心パトロール活動されたし。

答 平素よりの防犯指導に加え、不審者情報があった場合の対応等、関係部署と連携を図ります。

問 保育施設や幼稚園や学校施設に侵入する不審者に対して防犯設備の強化と訓練や研修を徹底的に。

答 引き続きサスマタ等の設備充実と危機管理マニュアルに応じた定期的な訓練等に努めます。



み え の た ま え
三重野 玉江
(清流会)



- ・障がいのあるお子さんとその家族への支援について
- ・今後の経済、雇用支援
- ・公有財産の有効活用は

問 中津市内の認可保育園、こども園、公立幼稚園における障がい児の通園状況は。

答 障がいのあるお子さんにつきましては、基本的には集団保育が可能な場合は受け入れを行なっています。市内認可保育施設における通園状況は59名で、公立幼稚園は8名です。

問 9月より医療ケア児支援法が施行、国や自治体の責務となった医療ケア児の現在の受け入れ状況と今後の方向性は。

答 現在、市内認可保育施設において医療ケアの必要な子どもの受け入れ実績はありませんが、入所希望があった場合には、そのご家族に寄り添いながら個別に相談に応じ、子どもの状態等を考慮したうえで受け入れが可能かどうか各施設と協議し、ご希望に添えられるよう努めてまいります。



おお うち なお き
大内 直樹
(清流会)



- ・ひきこもり支援について
- ・まちの活性化を担う移動手段として

問 市役所内にひきこもり相談窓口を設け、当事者たちにできるだけ認知されるよう、相談窓口の名称を分かりやすいものにすることや、様々な機会をとらえた相談窓口からの情報発信を行っていくことも求められますが、どのようにお考えでしょうか。

答 市役所内にはひきこもり専用の窓口はありませんが、福祉政策課に様々な福祉の相談をお受けする「福祉の困りごと相談窓口」を設けております。他の福祉分野で相談を受ける中で家族にひきこもりの方がいることがわかる場合もあります。その場合も複合する問題に担当課と連携しながら寄り添った支援に努めています。

問 メイプル耶馬サイクリングロード上で電動キックボードのシェアリングを導入してはどうか。

答 制度面、安全面での課題解決策を検討し、所管する中津土木事務所、県公安委員会と情報交換を継続して行い、導入の可能性を調査研究します。

議会の傍聴について

中津市議会では、市内における新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたことから、令和3年12月議会より、議会の一般傍聴を再開しました。通常の傍聴席数に対し、約半数での対応としています。傍聴にあたっては、市役所本庁6階傍聴席の入り口にて、傍聴申請書の記入をお願い致します。ならびに、マスクの着用、体温測定及び手指消毒にご協力ください。

3月議会につきましては、感染拡大状況により変更となる可能性があります。

なお、インターネットにてライブ配信及び録画映像の視聴も可能です。



傍聴席の様子



傍聴席入り口の様子

令和4年3月議会の予定

2月	22日(火)	本会議「開会・会期・議案上程」
3月	1日(火)	本会議「一般質問」(4日間)
	2日(水)	
	3日(木)	
	7日(月)	
	10日(木)	本会議「議案質疑」
	11日(金)	
	14日(月)	厚生環境委員会
	15日(火)	総務企画消防委員会
	16日(水)	教育産業建設委員会
	17日(木)	予備日
	22日(火)	本会議「自由討議」
	24日(木)	本会議「委員長報告・質疑・討論・採決・閉会」

★インターネット議会放映(録画)は、いつでも視聴できます。

本会議の映像をパソコンやスマートフォンよりインターネット上でご覧いただけます。

ライブ配信(生中継)と録画配信で、録画配信には、見たい映像を日付や議員名等から検索できる機能をつけています。

インターネット放映は

中津市議会HP

中津市 議会中継

よりご覧ください。

生中継中は **LIVE** アイコンが点滅します



【QRコード】



各議員の一般質問、代表質問、議案質疑の内容につきましては、市議会日程の該当日の約2日前に市議会ホームページでお知らせいたします。

教育産業建設委員会

令和3年11月26日に教育産業建設委員会と中津市飲食業組合との意見交換会を開催しました。前回、9月29日に行った意見交換会では、再三の営業時間の短縮や県民への外出自粛要請などによる客足激減などの飲食業界の厳しい実態の訴え、また支援策の要望をいただきましたが、今回は外出自粛が少しずつ緩和された中での飲食業の現状と課題、新型コロナウイルス感染症「第6波」が到来した際の対応について、意見交換を行いました。

中津市飲食業組合との意見交換会



12月議会で決まった内容

令和3年12月議会は、11月29日から12月23日までの25日間にわたり開催されました。内容としては予算関係議案5件、条例関係議案2件、その他の議案9件、合計16件を可決、人事案件3件を同意及び異議ない旨答申し、報告3件を承認しました。また、意見書2件を原案通り可決しました。以下にその一部をお知らせします。（詳細はホームページをご覧ください。）また、閉会中の継続審査となっていた決算議案12件を認定しました。

補 正 予 算

- ◆令和3年度中津市一般会計補正予算（第7号）
 - * 障害児通所給付費など本年度実績見込みに応じた増額の予算措置等
- ◆令和3年度中津市一般会計補正予算（第8号）
 - * 18歳以下の児童を持つ子育て世帯に対し、臨時特別給付金として対象児童1人当たり5万円を支給するための予算措置
- ◆令和3年度中津市一般会計補正予算（第9号）
 - * 18歳以下の児童を持つ子育て世帯に対する臨時特別給付金のうち、来春給付予定であった対象児童1人当たり5万円相当分を追加給付するための予算措置（第8号補正とあわせて、対象児童1人当たり10万円を支給）
- ◆令和3年度中津市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- ◆令和3年度中津市ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算（第2号）

条 例

- ◆中津市手数料条例の一部改正について
 - * 長期優良住宅建築等計画の認定等の申請に対する審査手数料に新たな料金区分を設ける等のための条例改正
- ◆中津市国民健康保険条例の一部改正について
 - * 産科医療補償制度の見直しに伴う健康保険法施行令の一部改正の趣旨に鑑み、出産育児一時金の額を見直すための条例改正

報 告

- ◆専決処分報告について（令和3年度中津市一般会計補正予算（第6号））
 - * 新型コロナウイルス感染拡大の影響により停滞している地域経済の再活性化を図るため、プレミアム商品券及び食事券を発行する経費の予算措置
- ◆専決処分報告について（和解及び損害賠償の額の決定）（2件）
 - ・ 道路（市道）管理者としての和解及び損害賠償額の決定
 - ・ 施設管理者としての和解及び損害賠償額の決定

そ の 他

- ◆事務の委託の協議について
 - * 消防指令業務に係る事務の大分市への委託について議決を求めるもの
- ◆公の施設の指定管理者の指定について（7件）
 - ・ 中津市耶馬トピア施設
 - ・ 中津市宮洞門キャンプ場
 - ・ 中津市西谷農村公園施設
 - ・ 道の駅やまくに施設
 - ・ 中津市堆肥センターやまくに施設
 - ・ 中津市総合体育館外5施設
 - ・ 中津市立八千代保育園
- ◆工事請負契約の締結について（住建第12号市営野田高山住宅建築工事）
 - * 地方自治法第96条第1項第5号の規定に基づき、工事請負契約の締結に関して議決を求めるもの

人 事

- ◆中津市固定資産評価審査委員会委員の選任について

さかもり
酒盛 みゆき 氏（43歳）（大字永添）
- ◆中津市教育委員会委員の任命について

なかやま けんいち
中山 賢一 氏（70歳）（沖代町2丁目）
- ◆人権擁護委員候補者の推薦について

ごとう よしはる
後藤 義治 氏（67歳）（山国町藤野木）

※（ ）内の年齢は議案提出時の年齢

意 見 書

- ◆大雨などによる災害対策充実強化についての意見書
- ◆地球温暖化に伴う気候変動下における持続可能な営農支援を求める意見書

以上2件の意見書は原案通り可決し、関係機関へ提出しました。

自由討議

◆新しい日常における周防灘地域議会の連携について 議会・議員ができること、すべきこと

- ①共通課題に取り組む部会または研究会を作る
- ②山国川兩岸を連携した観光振興の提言
- ③小祝・吉富間の架橋建設の推進
- ④24万定住自立圏の中核としての中津市民病院について
- ⑤ウィズコロナ・アフターコロナでの中小企業支援策の連携
- ⑥小項目1から5を超えるテーマ

(補足説明者:古江信一議員)



◆子育てしやすい環境とは

- ①これまでの子育て支援策の成果や課題
- ②今、求められている子育て施策とは

(補足説明者:千木良孝之議員)



以上の2件について自由討議が行われました。

決算審査

◆令和2年度中津市一般会計決算の認定について

◆令和2年度中津市国民健康保険事業特別会計決算の認定について

◆令和2年度中津市農業集落排水事業特別会計決算の認定について

◆令和2年度中津市介護保険事業特別会計決算の認定について

◆令和2年度中津市小規模集合排水事業特別会計決算の認定について

◆令和2年度中津市サイクリングターミナル事業特別会計決算の認定について

◆令和2年度中津市後期高齢者医療特別会計決算の認定について

◆令和2年度中津市ケーブルネットワーク事業特別会計決算の認定について

◆令和2年度中津市病院事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

◆令和2年度中津市診療所事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

◆令和2年度中津市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

◆令和2年度中津市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

◆賛否の分かれた議案

- [議第77号] 令和2年度中津市一般会計決算の認定について
 [議第78号] 令和2年度中津市国民健康保険事業特別会計決算の認定について
 [議第80号] 令和2年度中津市介護保険事業特別会計決算の認定について
 [議第87号] 令和2年度中津市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
 [議第105号] 令和3年度中津市一般会計補正予算(第7号)
 [議第110号] 事務の委託の協議について

(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×、棄権ー、欠席は欠で表しています。)

議案番号	議決結果	前 進					ゆうき				新生・市民クラブ				清流会				日本共産党			創生なかつ		公明党	
		古 江 信 一	草 野 修 一	角 祥 臣	高 野 良 信	林 秀 明	藤 野 英 司	中 西 伸 之	本 田 哲 也	山 影 智 一	吉 村 尚 久	大 塚 正 俊	千 木 良 孝 之	須 賀 要 子	相 良 卓 紀	木 ノ 下 素 信	三 重 野 玉 江	大 内 直 樹	荒 木 ひ ろ 子	川 内 八 千 代	三 上 英 範	中 村 詔 治	恒 賀 慎 太 郎	松 葉 民 雄	小 住 利 子
議第77号	認定する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
議第78号	認定する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
議第80号	認定する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
議第87号	認定する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
議第105号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
議第110号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○

※上記以外の議案については、全会一致で原案可決、認定、同意、異議ない旨答申及び承認となりました。

なお、議長は採決に加わらないため斜線としています。